

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 17日

中施策事業名	防犯啓発事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	市民の防犯意識の向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	防犯意識の向上が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 防犯の啓発 ・ 功労者表彰 ・ 市防犯協会		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
防犯教室の実施回数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	23	23	23	23	23	23
	実績値	4	6				
単位	回						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				75千円	124千円	
	a 事業費合計			75千円	124千円	237千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				75千円	124千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1 円	2 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B コロナウイルス感染症禍のため、特に高齢者の防犯教室が中止となることが多く、対面での啓発活動を実施することができなかったため、市役所内に特殊詐欺被害啓発ブースを設置することや、特殊詐欺防止推進地区を愛知警察署と連携して設定するなどして対面以外の防犯啓発活動を実施した。 これらにより、まちづくり指標の「犯罪発生件数」は令和7年度の目標値を達成する件数に抑えられているが、コストについては、急増する特殊詐欺被害防止のため、防止装置の補助制度を創設したため増加している。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症対策のため、対面を避ける形での青パトでの広報活動の強化を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	再整備駐輪場と連携した駐輪場内の盗難防止啓発活動を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 19日

中施策事業名	自主防犯活動支援事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	地域の自発的な防犯活動を推進する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	積極的に防犯活動を行っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 防犯ボランティア ・ 防犯モデル地区 ・ 安全ステーション		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
自主防犯ボランティア団体数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	71	71	71	71	71	71
	実績値	67	70				
単位	団体						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				3, 161千円	3, 171千円	
	a 事業費合計			3, 161千円	3, 171千円	3, 185千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			3, 161千円	3, 171千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			46 円	46 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 地区の青パト講習会時等にて、ながら見守り等の新しい防犯スタイルについてPRしたことや、地元の方の防犯活動意識の高さの向上が、自主防犯自主防犯ボランティア活動団体の増加につながった。 このような地区の積極的な防犯活動の推進により、市内の犯罪件数も1割程度減少した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ながら見守りの推奨をさらに働きかけ、防犯団体への参加のハードルを下げることで、より防犯活動に参加していただけるように働きかけていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、ながら見守りの推奨をさらに働きかけ、防犯団体への参加のハードルを下げることで、より防犯活動に参加していただけるように働きかけていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 19日

中施策事業名	防犯対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	明るく死角が少ない街をつくる		
④中施策事業の対象	・ 市民 ・ 市内で遊ぶ子ども		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民が安心して生活でき、子どもが外で安全に遊んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 防犯設備の設置補助 ・ 地域安全監視員 ・ 愛知地区防犯協会連合会		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
防犯灯のLED化補助台数（平成31年度完了予定）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	300	300	300	300	100	100
	実績値	189	53				
	単位 台						
防犯カメラ設置台数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	10	10	10	10	10
	実績値	9	4				
	単位 台						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				9,999千円	6,233千円	
	a 事業費合計			9,999千円	6,233千円	16,143千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				9,999千円	6,233千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				145 円	91 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 市全体のLED化率は9割を超え、水銀灯からLED等への更新は概ね終了したため、指標の実績が鈍化したと考えている。今後は住宅環境の変化等により新規のLED灯新設を地区に働きかける必要がある。 直営設置の防犯カメラの維持管理費用により令和4年度のコストは増加しているが、犯罪抑止に関する費用対効果が高く、必要である。 また、防犯カメラ補助金についても地区の実情を踏まえ、痴漢対策、侵入盗、特殊詐欺対策のための防犯カメラ設置を働きかけていく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	犯罪のないまちづくりを目指し、地域に設置する防犯灯の新設や修繕、防犯カメラの設置に対し補助金を交付するとともに、駐輪場の整備に伴い名鉄3駅周辺に防犯カメラを設置し犯罪の抑制に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	再整備駐輪場と連携した駐輪場内の盗難防止啓発活動を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 19日

中施策事業名	交通安全推進事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	交通ルールの理解と遵守を促進する		
④中施策事業の対象	市内在住・在勤・在学者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	交通ルールの遵守		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・交通安全運動 ・交通安全の啓発 ・交通安全施設・規制等の要望		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
交通安全教室の開催回数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	33	33	33	33	33	33
	実績値	15	23				
単位	回						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				11, 065千円	10, 080千円	
	a 事業費合計			11, 065千円	10, 080千円	17, 761千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				11, 065千円	10, 080千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				161 円	146 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A コロナウィルス感染症禍のため、特に保育園・幼稚園での交通安全教室が中止となり、開催回数が目標に到達しなかったが、徐々に回復傾向である。まちづくり指標の「交通事故発生件数」については、令和7年度の目標値を達成することができている。また、歩道の安全を確保するため、拡大予定の放置自転車禁止区域内に案内標識・看板を設置するため、令和4年度はコストが増加しているが、「まちづくり指標の交通事故発生件数」のさらなる抑制と、放置自転車の減少による「交通マナーが良くなったと思う市民の割合」についての目標達成に寄与するものと期待できる。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	対面を避ける形での啓発活動を作成したデジタル紙芝居等にて積極的に実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	特に高齢者が外出時に反射材を着用していただけるように老人会会合等にて働きかける。自転車の乗り方についての講習を小中学校、老人会等の会合にて行い、特に交通マナーについての意識向上につとめる。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 25日

中施策事業名	自転車対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市内を自転車利用する人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	自転車を放置していない		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・駐輪場の管理・運営　・自転車駐輪対策　・放置自転車		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
撤去台数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	500	450	450	450	450	450
	実績値	266	378				
単位	台						
駐輪場の不足台数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	190	190	190	0	0	0
	実績値	190	190				
単位	台						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				34,766千円	16,495千円	
	a 事業費合計			34,766千円	16,495千円	104,489千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				34,766千円	16,495千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				505 円	240 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 公益財団法人自転車駐車場整備センターと市内駐輪場の再整備のための協定を締結し、令和4年10月の供用開始に向けた協議を行った。 また、駐輪場再整備にあわせて放置自転車禁止区域を拡大するため、撤去対象の放置自転車が一定期間増加する想定であるが、駐輪場再整備により利用したい人が必ず駐輪できる状況ができるため、長期的にみれば減少していくと考えている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	再整備事業については、市の交通結節点である鉄道駅利用者の利便性を最大限向上できるように、事業主体である公益財団法人自転車駐車場整備センターと十分に協議・調整を行う。 再整備後の放置自転車撤去の仕組みづくりについても、公益財団法人自転車駐車場整備センターと協議しながら検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	放置自転車禁止区域範囲について、駐輪場の運用開始後の動向を見ながら、検証を行い、必要に応じて見直しを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	災害対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている		
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する		
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる		
④中施策事業の対象	近隣自治体、遠方自治体、民間企業		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	平時から情報交換等により顔の見える関係を構築し、災害時に迅速な対応ができる関係となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 災害対策本部、非常配備 ・ 避難所 ・ 防災行政無線等機器 ・ 防災資機材 ・ 地域 防災計画 ・ 防災会議、地域防災対策推進会議 ・ 国庫、県費の補助金（防災関係） ・ 国民保護計画 ・ 災害時要援護者支援、ボランティアセンター ・ 防災協定		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
締結した災害協定 数（年間）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	3	3	3	3	3	3
	実績値	10	2				
単位	数						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				167, 506千円	24, 681千円	
	a 事業費合計			167, 506千円	24, 681千円	25, 366千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				167, 506千円	24, 681千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				2, 434 円	359 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 本市の災害協定の締結状況は、令和3年度実績で合計76件となっており、一定程度充足してきている。 様々な防災協定の締結は、いざという時の大きな力となる。協定締結先との協力体制は、本市・市民の安全・安心につながっているものと思われる。 令和3年度決算額が減っている理由としては、令和2年度に同報無線の整備をし、コスト増となっているためである。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	福祉避難所として活用が可能となる施設など不足している分野に対し、新たなパートナーを探し、協力関係が築けるよう活動を継続していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	有事の際の協定であるため、協定締結先と確実に連絡・情報伝達ができる体制を構築するため、訓練も実施していきたい。 令和4年度に整備が完了する移動系無線について、同報無線と合わせ、豪雨災害訓練等の訓練で使用していく。また、愛知県高度情報通信ネットワークを整備し、県との情報伝達が確実にできるようにする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 6日

中施策事業名	消防水利設置・維持管理事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている		
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する		
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる		
④中施策事業の対象	市内の市街地及びこれに類する地域		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	耐震性を有する防火水槽が整備されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 立上り消火栓に関すること ・ 防火水槽の設置及び改修に関すること ・ 国庫補助金及び県費補助金に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
耐震性防火水槽整備率（市街地等区域を概ね網羅できる78基（100%）を目標値とする）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	78	78	78	78	79	80
	実績値	78	78				
	単位	基					
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				7,725千円	13,039千円	
	a 事業費合計			7,725千円	13,039千円	9,651千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			7,725千円	13,039千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				112 円	189 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 耐震性防火水槽は、地下式消火栓の新規設置及び買い替えを進めている消防団の積載車の購入を優先させるため、設置計画を見直した。来年度以降に設置していく予定である。また令和3年度は、開発の進んでいる南部地区に消防隊活動用の地下式消火栓2箇所の設置を進めたためコスト増となった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	地下式消火栓の新規設置1箇所と積載車の購入について、設置候補地の妥当性等を検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	消防水利の充足率を高めるため、地下式消火栓の設置も進めていく必要がある。また、防火水槽について、民地にある古い防火水槽の改修や撤去も含めた計画を策定していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 15日

中施策事業名	消防団運営事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている		
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する		
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる		
④中施策事業の対象	消防団員・区、町内会・関係団体		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の中心となり、地域住民と相互に連携協力し、活動を行っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・消防団員の退職報償金に関すること ・消防団員等の公務災害補償に関すること ・消防団式典に関すること ・消防団の各種行事に関すること ・消防団に対する警備依頼に関すること ・消防団交付金に関すること ・消防団の組織運営に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
消防団活動回数(年間)	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	820	820	820	820	820	820
	実績値	298	334				
単位	回						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				80, 982千円	54, 391千円		
	a 事業費合計			80, 982千円	54, 391千円	66, 231千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				80, 982千円	54, 391千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 177 円	790 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、消防団活動が制限されたため、目標の達成には至らなかった。今後は可能な範囲で活動を再開していく。コストについても、令和3年度は、操法大会の中止など、多くの行事が中止若しくは縮小により一時的にコストが下がったが、令和4年度以降はコストの削減を図りながらも、できる行事を進めていく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	消防団の訓練や地域イベントの警備等については、感染対策を徹底しできる限りの活動を実施する。また、救助資機材を搭載した積載車の配備を進めていく。 操法大会の実施方針をまとめ、消防団と協議する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	積載車を全分団に配備し、常備消防と連携し小型ポンプの取扱いや救助活動訓練にも力を入れていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 15日

中施策事業名	女性防火クラブ事務	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備えて家庭での準備を促す		
④中施策事業の対象	女性防火クラブ員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	クラブ活動を通じ、家庭や地域からの火災を予防する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 女性防火クラブの指導育成に関すること ・ 女性防火クラブ交付金事務に関すること ・ 女性防火クラブ半日体験に関すること ・ 女性防火クラブ研修に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
女性防火クラブ行事参加人数(年間)	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	300	300	300	300	300	300
	実績値	61	48				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				1,151千円	1,084千円	
	a 事業費合計			1,151千円	1,084千円	1,160千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				1,151千円	1,084千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				17 円	16 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	C
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修会や、半日体験などの行事や活動が中止若しくは縮小されたため、目標には至らなかった。また、年々支部数の減少が進んでいるため事業内容、活動方法の見直しが必要である。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	家庭からの防火のみならず、地域の防災や啓発といった活動についても女性防火クラブと協議しながら考えていきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	活動を見直し、事業の充実化を図っていきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 3日

中施策事業名	防災啓発事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備え家庭と地域の連携を促し、災害時の助け合いの意識を向上させる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	災害時に地域を通してスムーズな連絡調整を行うことができ、消火活動や救出活動を迅速に行うことができる状態である		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・防災訓練 ・防災啓発 ・自主防災組織連合会 ・安心安全情報共有システム ・地区で開催される防災訓練 ・講話		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域で実施した防災訓練の数（年間）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	46	46	46	46	46	46
	実績値	24	27				
単位	数						
家庭で防災対策をしている市民の割合（備蓄、避難所の確認など）※	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	67.8	69.7	71.6	73.5	75.4	77.4
	実績値	59.7	59.5				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				6,166千円	6,331千円	
	a 事業費合計			6,166千円	6,331千円	8,618千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			6,166千円	6,331千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			90 円	92 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 令和2年度、3年度と新型コロナウイルスの感染拡大により地域での訓練、講話がほとんどできなかった。特殊事情がなくなれば、順調に訓練、講話の依頼が増えてくるものと思われる。 まちづくり指標では、「家庭で防災対策をしている市民の割合」が改善していないため、災害に対する危機意識を高め、対策を講じてもらえるような施策が必要となっている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	防災リーダー研修会等の研修や、自主防災組織連合会理事を通じ、訓練の仕方など、実施内容について詳しく説明し、取り組みやすさなどを伝える。 同報無線を使用した豪雨災害訓練を実施、Jアラートによる試験放送も実施した。 災害に対し、各家庭でも対策が講じられるよう防災啓発チラシの配布など、防災意識を高めるための施策を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	他市町の先進的な事例で、各自主防災会が簡単に取り組むことができる訓練等を紹介していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等